
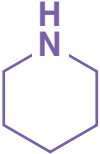



■ 化学構造と運転への影響

抗ヒスタミン薬は化学構造に基づいて、三環系骨格、ピペリジン骨格、ピペラジン骨格などに分類されます。  
例えば、三環系骨格の薬で効果があまり見られない場合、他の骨格を持つ薬剤に変更することで、くしゃみやかゆみが治まることがあります。

図2：抗ヒスタミン薬の化学構造と運転への影響に基づく分類

化学構造 運転に関する記述	三環系骨格	ピペリジン骨格	ピペラジン骨格
			
記載なし	ロラタジン オロタジン シタラジン オキサタジン セタタジン エタタジン メタタジン プロタジン	ロラタジン オキサタジン セタタジン エタタジン メタタジン プロタジン	ロラタジン オキサタジン セタタジン エタタジン メタタジン プロタジン
△	ロラタジン オキサタジン セタタジン エタタジン メタタジン プロタジン	ロラタジン オキサタジン セタタジン エタタジン メタタジン プロタジン	ロラタジン オキサタジン セタタジン エタタジン メタタジン プロタジン
×	ロラタジン オキサタジン セタタジン エタタジン メタタジン プロタジン	ロラタジン オキサタジン セタタジン エタタジン メタタジン プロタジン	ロラタジン オキサタジン セタタジン エタタジン メタタジン プロタジン

※1. 記載なし：薬の成分名が記載されているが、運転への影響に関する記載がない。  
※2. △：薬の成分名が記載されているが、運転への影響に関する記載が不明確である。  
※3. ×：薬の成分名が記載されているが、運転への影響に関する記載が明確である。

1. 記載なし
2. △
3. ×



■ 妊婦・授乳婦への使用

● 妊婦への使用

妊婦が服用する抗ヒスタミン薬は、胎児に悪影響を及ぼす可能性があります。特に、三環系骨格の薬は、胎児の心臓や神経系に影響を及ぼす可能性があります。そのため、妊婦が服用する場合は、医師の指導に従ってください。

● 授乳婦への使用

授乳婦が服用する抗ヒスタミン薬は、母乳を通じて赤ちゃんに吸収される可能性があります。特に、三環系骨格の薬は、赤ちゃんの心臓や神経系に影響を及ぼす可能性があります。そのため、授乳婦が服用する場合は、医師の指導に従ってください。



■ 外用剤の使用法と注意点

経口剤以外の抗ヒスタミン薬には点鼻薬や点眼薬などがあり、局所的な症状緩和に用います。

図3：抗ヒスタミン薬の点眼薬一覧

成分名	主な商品名	用法	コンタクトレンズ着用時
ロラタジン	ロラタジン点眼薬	1回1滴、1日1回	点眼後、15分程度コンタクトレンズを着用しないでください。
オキサタジン	オキサタジン点眼薬	1回1滴、1日1回	点眼後、15分程度コンタクトレンズを着用しないでください。
セタタジン	セタタジン点眼薬	1回1滴、1日1回	点眼後、15分程度コンタクトレンズを着用しないでください。
エタタジン	エタタジン点眼薬	1回1滴、1日1回	点眼後、15分程度コンタクトレンズを着用しないでください。
メタタジン	メタタジン点眼薬	1回1滴、1日1回	点眼後、15分程度コンタクトレンズを着用しないでください。
プロタジン	プロタジン点眼薬	1回1滴、1日1回	点眼後、15分程度コンタクトレンズを着用しないでください。

※1. 記載なし：薬の成分名が記載されているが、点眼法に関する記載がない。  
※2. △：薬の成分名が記載されているが、点眼法に関する記載が不明確である。  
※3. ×：薬の成分名が記載されているが、点眼法に関する記載が明確である。

※4. 記載あり：薬の成分名が記載されているが、点眼法に関する記載が不明確である。